

九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

Vol.
128
2023 Dec.



九州大学広報課

TEL:092-802-2130 E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会

TEL:092-802-5968 E-mail:gaggkoudenai@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学同窓会連合会

TEL:092-802-2158 E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp

住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、封筒記載の連絡先へお願いします。

特集1 特別レポート

JAXA

若田光一 宇宙飛行士 母校九州大学へ帰還!

特集2

デザインの力で紡ぐ総合知!
“芸工”の世界に迫る

■編集・発行:九州大学広報課

〒819-0395福岡市西区元岡744

■Webサイト:<https://www.kyushu-u.ac.jp/>

■印刷:TOPPAN株式会社

■編集協力・取材:近藤耕平、永井直美、中岡由希子

■撮影:TOPPAN株式会社

■デザイン:株式会社イングラ HIQU DESIGN

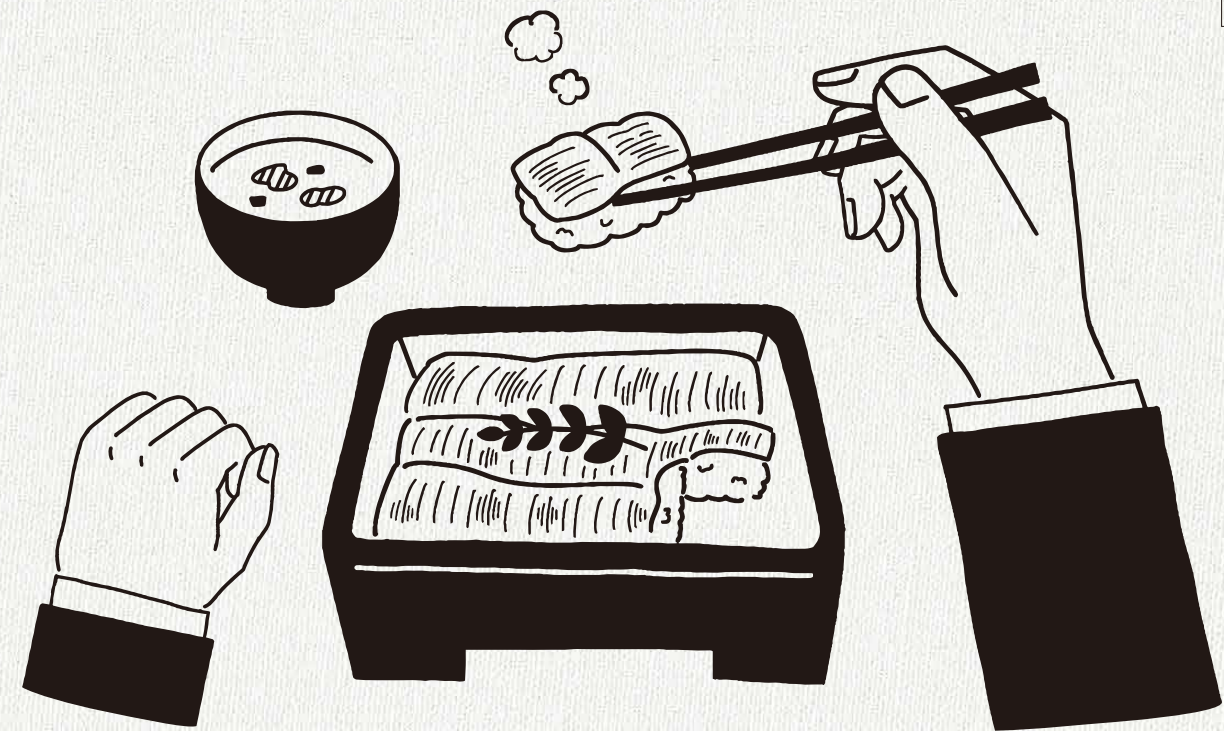
◎本誌記事を転載する場合は、
事前に九州大学広報課までご
連絡願います。

◎「九大広報」は九州大学Web
サイトでもお読みいただくこと
ができます。

[表紙撮影協力:九州大学タップダンスサークル That's Entertainment!]

[COVER/躍動]

九州大学タップダンスサークル
That's Entertainment!



名店のうなぎ

紅

茶とクッキーといえばアフタヌーンティー。優雅なお茶会を想像しますが、実はこれが総長のお昼ごはんです。日中は多忙なうえ、夜は会食が多く、カロリー高めめの食事になりがちなため、昼は軽めに済ませているのだとか。「クッキーがおいしい店があつてね」。最近のお気に入り、伊都キャンパス近くにある洋菓子店の手づくりクッキー。クッキーの甘みと紅茶の心地よい風味が、緊張続きの心と体を緩めます。食にこだわりがないわけではありません。好物は、有名なも足繁く通う博多の名店のうなぎ。「タレがいいよね」。外はカリッ、中はふんわり焼き上がった身に絡むほんのり甘いタレがお好みのようなです。「初めての給料は、医局の仲間20人くらいで『うなぎの宴会』に費やしたよ」と苦笑い。若い頃は食事にあまり気を遣わなかったそうですが、大学経営の舵取りを担う今は健康管理にも気を配ります。日々記録してベストな体重を維持。そんな自制する毎日があるからこそ、たまに味わう名店のうなぎは格別なのかもしれません。



石橋達朗

2023.9.19

CONTENTS

- 01 [巻頭コラム] 総長の「食」
- 03 [特集1] 特別レポート
JAXA若田光一宇宙飛行士
母校九州大学へ帰還!
- 07 [特集2]
デザインの力で紡ぐ総合知!“芸工”の世界に迫る
- 09 [躍動] 九州大学タップダンスサークル
That's Entertainment!

九大広報 KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE Vol.128 / 2023 Dec.

- 11 世界から九大へ 九大から世界へ
- 13 現役九大学生 >>> 卒業生インタビュー
- 15 クローズアップ九大 宇宙天気を解明し地球の未来を拓く
- 18 [Museum Report] 元寇防塁研究と九州大学
「-総合研究博物館に眠る学史的資料-」
- 19 Connect with Alumni
- 21 九州大学基金

INFORMATION

西日本シティ銀行 伊都支店に、九州大学情報発信コーナー誕生!

2023年10月16日(月)、西日本シティ銀行の「伊都支店」がオープンしました。「伊都支店」は2004年10月の西日本シティ銀行創立以来、初めて誕生する支店で、JR九大学研都市駅近くに位置します。

同支店は本学との産学連携の拠点としても活用され、大学発ベンチャーの支援や、学生向けの金融リテラシー教育などに取り組むほか、本学に関する

情報を発信する「九州大学情報発信コーナー」を設置。同支店利用者が入口を入ってすぐ、本学の各種広報誌やノベルティ、プロモーションムービーがお出迎えます。

九州大学では、今後も地域社会や地場企業と協働して、社会的課題の解決や、持続可能で人々の多様な幸せ(=well-being)を実現する社会づくりに貢献する取り組みを展開していきます。



伊都支店の九州大学情報発信コーナー

帰還報告会 REPORT

開催日 2023 10/14 (土) 会場 伊都キャンパス 椎木講堂コンサートホール

令和5年10月14日(土)、大学の卒業生であり、日本人最多の5回目の宇宙飛行に挑み、3回目の国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在ミッションを成功させたJAXA(宇宙航空研究開発機構)の若田光一宇宙飛行士が訪問され、JAXAの協力を得て、伊都キャンパス 椎木講堂にて帰還報告会が行われました。



“失敗を恐れず未来へ。月、火星探査での日本人の活躍に期待”

「月探査」を見据えて
さまざまなミッションを遂行

今回搭乗した宇宙船は、スペースX社のクルードラゴン。米国、ロシア、日本人で構成された4人のクルーで5カ月余りのISS長期滞在に臨みました。

ISS内では、線虫を用いた老化のメカニズムを解明する生物学的な実験や、尿や汗を飲み水に再生する実験などを行いました。

「月探査」を見据えて
さまざまなミッションを遂行

報告会では、ビデオ映像を見ながら今回のミッションを振り返り、ISSの「きぼう」実験棟の装置や実施した実験内容、船外活動の様子などを解説いただきました。



[上]EVA(船外活動)を行う若田宇宙飛行士
提供: JAXA/NASA
[下]キューボラから船外を眺める若田宇宙飛行士
提供: JAXA/NASA

また、宇宙ステーションの安定した電力供給のために、太陽電池パネルの土台となるものを設置する作業も重要なミッションでした。自身初となる船外活動では、作業中、宇宙ステーションに取り付けられないなどのトラブルが発生しましたが、クルーや地上管制局とのチームワークで取り付けに成功。ミッションを遂行しました。

若田宇宙飛行士は、月や火星探査が進む中、日本人の活躍する機会が増えると言います。「失敗したときが一番成長しています。目標を高く持って頑張ってください」と本学在学時にエールを送りました。

さらに「きぼう」だけが持つ機能を活用して超小型衛星を軌道に乗せるミッションでは、滞在中に超小型衛星7機を放出。その中にはウガンダ、ジンバブエの初の人工衛星もありました。

ISSで快適な生活が送れるよう、日本のメーカーから提供があった生活用品や宇宙日本食も紹介され、若田宇宙飛行士は「国際宇宙ステーションは、日常生活を豊かにする実験だけでなく、月や火星探査など、人類がさらに遠くに行くための技術実証の場として非常に重要な施設になっています」と語りました。

トラブルに遭遇するも、
チームワークで成功に導く

また、宇宙ステーションの安定した電力供給のために、太陽電池パネルの土台となるものを設置する作業も重要なミッションでした。自身初となる船外活動では、作業中、宇宙ステーションに取り付けられないなどのトラブルが発生しましたが、クルーや地上管制局とのチームワークで取り付けに成功。ミッションを遂行しました。

若田宇宙飛行士は、月や火星探査が進む中、日本人の活躍する機会が増えると言います。「失敗したときが一番成長しています。目標を高く持って頑張ってください」と本学在学時にエールを送りました。

Check! P5-6に報告会の詳細レポートを掲載!

特集1
Special
report

特集1
特別レポート

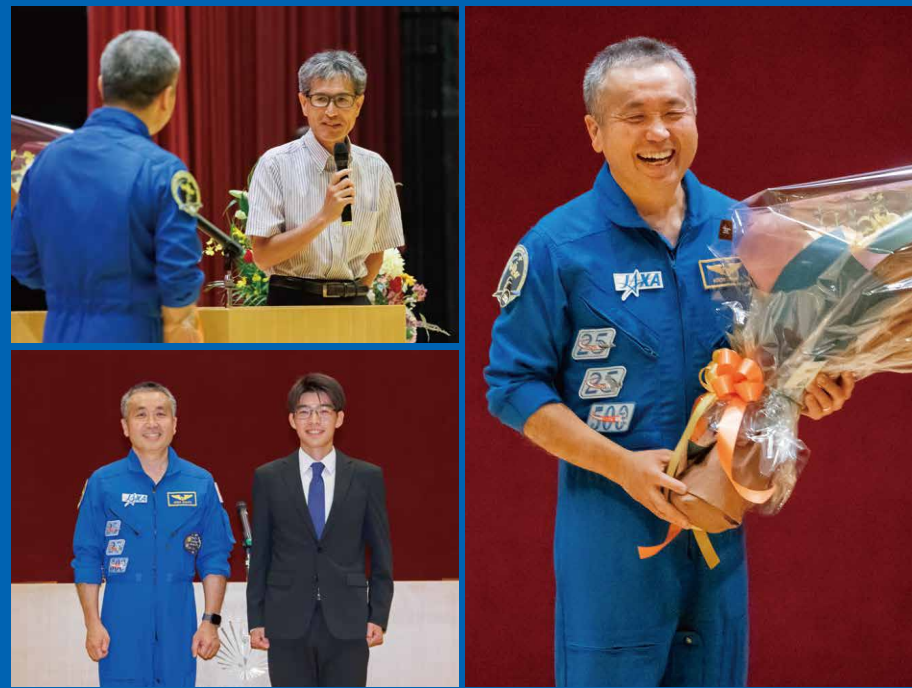
母校 JAXA 九州大学へ帰還！ 若田光一 宇宙飛行士

WAKATA Koichi

本学大学院工学府航空宇宙工学専攻博士課程修了。JAXA(宇宙航空研究開発機構)所属の宇宙飛行士。初のスペースシャトル搭乗は1996年。2013年末から2014年まで国際宇宙ステーションに長期滞在し、日本人で初めてコマンドー(船長)を務めた。2022年10月から2023年3月まで、スペースX Crew-5およびISS第68次長期滞在のクルーとしてISSに155日間滞在。5回の宇宙飛行における宇宙滞在時間は累計で504日18時間35分、日本人最長記録を更新。2023年時点で現役宇宙飛行士として活動期間は31年を超えて世界最長。

後輩代表からのメッセージではサプライズも

報告会では、後輩代表と在学生代表からメッセージが送られました。後輩代表は、若田宇宙飛行士と同じ研究室で1年後輩にあたる、JAXAの三保和之プログラム推進室長がサプライズで登場。若田宇宙飛行士は、久しぶりの対面に驚きながらも笑顔で謝辞を述べられていました。続いて、在学生代表を代表し、工学府航空宇宙工学専攻修士1年の金丸祐大さんが「憧れの先輩の話聞いて刺激的な機会だった」とあいさつ。それに対して、若田宇宙飛行士は「仕事でも勉強でも悩んだときは自分の原点、なぜやっているのかを問い直して目標に向かって努力してほしい」とエールを送りました。



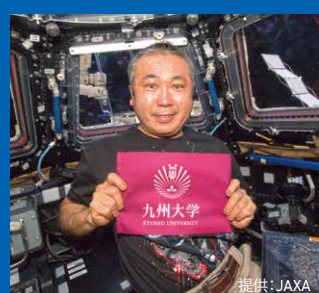
PICK UP JAXA公式飛行記念品を寄贈

伊都キャンパスを訪れた若田宇宙飛行士は、石橋総長を表敬訪問。サインやISS長期滞在記念ワッペンが装飾されたJAXA公式飛行記念品を寄贈されました。

[右]ミッションが記録された飛行記念品を石橋総長に手渡す若田宇宙飛行士



PICK UP 宇宙飛行記念品返還



帰還報告会前には、今回の飛行に際して本学が宇宙飛行記念品として若田さんに託した九州大学のフラッグが、NASAの飛行証明書とともに石橋総長に返還されました。

[左]ISSに持ち込んだ九州大学のフラッグを広げる若田宇宙飛行士

PICK UP 若田宇宙飛行士に名誉博士の称号を授与



この度、若田光一宇宙飛行士の功績およびこれまでの本学の教育研究への多大な貢献に対して、九州大学名誉博士の称号を授与することとなりました。
※名誉博士の称号は、学術文化の発展に多大な寄与があった方に授与しているものです。
石橋総長から名誉博士の称号を授与された若田宇宙飛行士



若田宇宙飛行士が5か月余りのISSでのミッションを報告

若田宇宙飛行士は、本学の学生や関係者約900人を前に、5か月余りにわたるISS長期滞在中に果たしたミッションや生活の様子を、映像を交えながら講演。その後の質疑応答では、学生から幅広い質問が寄せられ、若田宇宙飛行士と活発なやりとりが行われました。



将来、宇宙飛行士になりたいと思っています。若田さんが学生時代に意識して取り組んでいたことを教えてください。

宇宙開発は一つの分野だけでは成り立ちません。さまざまな分野を結集する、まさに九州大学が提唱する「総合知」が重要だと思っています。まずは、今興味を持って勉強している分野で第一人者になるつもりで勉強を深めてください。その専門性や経験をどのように宇宙に活用できるかを常に考えながら、将来を目標してほしいと思います。



スペースデブリは、宇宙環境を持続的に人類が活用する上で重要な問題です。デブリが接近する可能性がある場合は地上のレーダーで場所を把握しているケースがほとんどです。時間の余裕があれば軌道修正しますが、発見が遅れると宇宙ステーションの中の各実験室のハッチを閉めて被害を最小限にする工夫をします。人工衛星も含めてスペースデブリを取り除いていかなければ混雑しすぎて宇宙活動ができなくなり、技術的な取り組みが進められていきます。まさにこうしたところで日本の実力を発揮して世界をリードしてほしいと思います。

スペースデブリ(宇宙ゴミ)はどんな影響があったか、また危機感を覚えたことがあれば教えてください。



これまでのフライトでも全て船外活動を行う準備をしていましたが、偶発的なアクシデントが続き実現しませんでした。当然、宇宙で緊急事態が発生することも想定して訓練をしています。宇宙ステーションの1番端にいるときに宇宙服が減圧して仲間が動けなくなっても、その仲間を安全にエアロックまで連れて帰るといふ試験があります。30分以内に仲間を安全にエアロックまで戻せなかったら失敗です。こうしたリスクに対応するための厳しい訓練を受けているので恐怖心はありませんでした。ヘルメット越しに見る地球の姿はとても美しかったですよ。



※エアロック=気圧の異なる場所を人や物が移動するとき、隣り合う室内の圧力差を調節する機能を持った出入り口として使用する通路あるいは小部屋

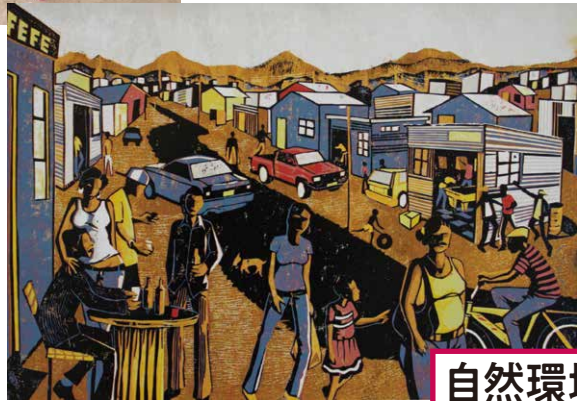
EVA(船外活動)をするとき恐怖心はありますか？



Q&A SESSION

講演後に行われた若田宇宙飛行士と本学学生の質疑応答の一部をご紹介します。

デザインの力で紡ぐ総合知！ “芸工”の世界に迫る



[上]限界集落に暮らす女性たちは、古くから続く籠づくりにより絆を深め、コミュニティを維持することができている。
[下]作品で描かれるナミビアの風景からは砂漠の色彩が生き生きと伝わり、まるで現地を訪れているかのよう。

自然環境

アート



芸術工学研究院 サラントウ メラニー
ストラテジックデザイン部門 SARANTOU MELANIE 教授

コミュニティ
維持のために
芸術が
重要な役割を
果たしている

「社」 会の周縁で孤立する人々が手を取り合うとき、芸術が果たせる役割は？」

サラントウ先生の母国であるアフリカ南西部の国・ナミビアでは、世界最古の海岸砂漠であるナミブ砂漠が南北1300kmにわたって続いています。この砂漠は人々を社会的に周縁化させてしまう一方、その土や酸化物が、孤立しかけた人々をつなぎ留めています。ナミビアの自然環境は現地の人々にとってインスピレーションの源であり、籠やその他の芸術活動を楽しむ場を作り出しています。作品の色付けの原料としてオチゼと呼ばれる黄土や金属の錆がよく使われるため、まるでナミビアの風景そのままを閉じ込めたような色合いの作品が仕上がります。また、砂漠で分断された過疎地域に住む人々は、制作活動を通して集まり、語り合う機会を持つため、コミュニティ維持のために芸術が重要な役割を果たしているという側面もあります。このように、サラントウ先生は地域特有の社会的課題を解決するために、自然環境がどのように地域のアイデンティティを育み、持続的な芸術活動を支えていくのかを研究されています。

「芸工には社会的課題解決のために強いビジョンを持った人が多い。芸工の研究をもっと国際的にも盛んにしていきたい」と語っていただきました。

ユーザーの
真意まで
考えるのが
デザイナーの仕事



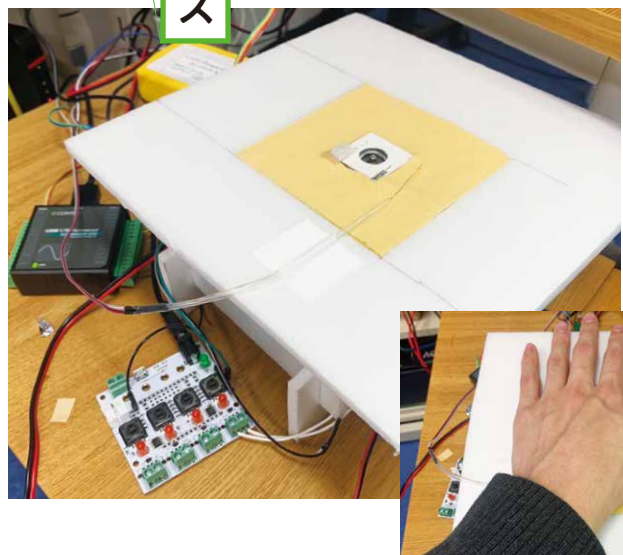
芸術工学研究院
メディアデザイン部門 じょうだい たくや
テクニカルスタッフ 城代 拓哉さん

元々々は高専でコンピュータサイエンスを専攻していた城代さん。デジタル化が進んだエストニアへの留学経験も影響し、「行政サービスのデジタル化」に強い興味を持たれたそうです。そのためには優れた技術だけでなく、エンドユーザーにとって利便性の高いものでないといけないと考え、芸工に3年次編入。インターフェースとしての手の触覚のメカニズムの研究を開始し、卒業後の現在もUI/UXデザイナーとしての本業の傍ら、テクニカルスタッフとして研究に没頭されています。モノづくりという点では高専と親和性が高いですが、対象となる「ユーザー=生きた人間」を根底に考える点が、あまり高専にはない芸工の特徴だと教えてくれました。

現在、アプリのUI/UX開発も手掛けている城代さん。「“サービスデザイン”とは決して思い付きによるものではなく、使ってくださいるユーザーを中心に据えて、実直に考え抜いた結果出来上がる堅実なもの」だと強く説かれます。将来はデジタル庁に関わる仕事をしたいということで、私たちが城代さんのデザインした行政サービスを使う日が、すぐそこまで来ているのかもしれません。

手の触覚
行政サービス

振動や熱を発生させるこの装置に手を置くことで、知覚同士のインタラクションを明らかにする実験を行っています。



2003年に九州大学と九州芸術工科大学が統合して20周年。技術の基礎である「科学」と、人間精神の最も自由な発現である「芸術」を統合した“芸工”は、ますますその存在感を増しています。異彩を放つこの世界で活躍されている4名の方を取材しました。

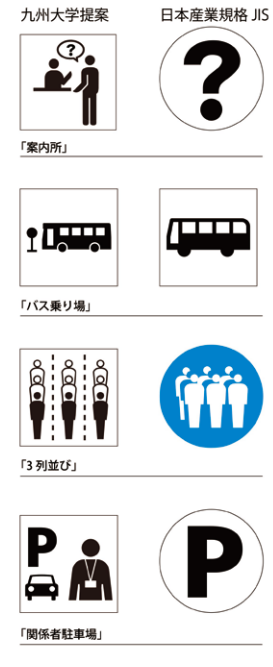
ワタシたちが取材しました！

- 陣内 未来 (人間環境学府修士2年) 疋田 弥紅 (芸術工学府修士2年)
- LIU YUER (共創学部4年) 目黒 智将 (芸術工学部4年)
- 柴田 はるな (法学部1年)

世界水泳選手権2023
福岡大会ピクトグラム制作
プロジェクト



学生が中心となり、デザインを行った [上]「P」と「駐車場」が結びつかない場合もあるので車のデザインを入れ、「関係者」を表すために首からホルダーを下げた。
[右]日本で標準使用されているJIS(日本産業規格)と提案したデザインの比較。提案ピクトグラムが有意に理解度が高い結果が得られた。



障害があってもなくても
わかりやすく



ピクトグラム

障害

芸術工学研究院 くだう まお
メディアデザイン部門 工藤 真生助教

20 20年に芸術工学研究院に着任された工藤真生先生。知的障害を有する人との映画制作プロジェクトや、世界水泳選手権2023福岡大会のピクトグラム制作プロジェクトに参画するなど、多くの場で活躍されています。

元々は、デザインに興味を持ちながらも特別支援教育の道に進まれたそう。知的障害や自閉スペクトラム症の児童・生徒の教育において、教材に多くの視覚支援(絵)が使用されていることから、障害の有無にかかわらずわかりやすい絵や図記号について関心を抱いた工藤先生は、修士課程からデザインの道に進まれました。そしてすぐに特別支援学校のサイン計画に携わったことが、現在の研究活動につながっているそうです。

ご専門はグラフィックデザインですが、脳科学の研究や教育現場も経験されている工藤先生。「デザインを実装することだけを目的とするのではなく、障害の社会モデルに対して貢献できる研究や活動をしていきたい」と意気込みを語っていただきました。

自分にとって、
制作は
自己紹介の
延長線



芸術工学部 くらす りょうた
芸術工学科2年 黒須 諒大さん

「自」 分にとって、制作は自己紹介の延長線
そう語る黒須君は、現在2年生。福島県出身の彼は、福岡が音楽や美術など文化へのアクセスが良いこと、全国でも珍しい芸術に取り組める国立大学であること、本格的に絵を描いたことがなくても受験できることから、芸工への入学を決めました。

メディアデザインコースでグラフィックや映像など幅広い制作について学ぶ一方、CBAprojectというファッションショーを運営するサークルで演出やMVの制作を行っています。

ひとつの専門に限らず間口広く学ぶことができる芸工では、プロデュース力が養われると考える黒須君。在学中の目標は、映像・音楽・ファッションを融合したDJイベントをプロデュースすることだそう。将来は、映像の広告会社で多くの人をつなぎながら自分の色を出した映像を作っていきたいと話していました。

芸工に向いている人は、「幅広い授業があるので自ら進んで勉強や制作ができる人」だと語り、その“芸工らしさ”を自ら体現している黒須君。これから彼がどんなものを制作していくのかとても楽しみになりました。

自己紹介

「もっと間口を広げたい。知らないタイプの人でも1回は話したい」と語る黒須君。多くの人と関わりながら創作活動を行います。

プロデュース



躍動

靴で奏でる、無限の Entertainment!



九州大学タップダンスサークル
That's Entertainment!

学生スタッフが取材・執筆を担当する企画「躍動」。タイトルは取材に協力した各団体の代表者が書いています。個性あふれる手書き文字に、団体活動への熱意を感じます。

よく分からないことには、なんとなく近づきにくい……でも大学生になったからには何か新しいことを始めてみたい！そう感じている皆さんへ、今回は、九州大学タップダンスサークル「That's Entertainment」を紹介いたします。

誰でも気軽に参加でき、全力で楽しむことができる魅力的なサークルだ！と話してくれる代表の中村さんにその理由を伺います。

― 入部したきっかけを教えてください。

中村 高校生の時に体育祭で踊ったダンスが、すごく楽しかったんです。そこから、大学に入学したらダンスを始めたいと思ってました。入学後、サークルの情報誌を読んでいた時にタップダンスが目に入り、衝撃が走りました。「自分がやりたいことに一番近いのはこれだ」と。

また、サークルの先輩方がとても魅力的だったこともきっかけの一つです。入部初日から気さくに話しかけていただいて、すぐに緊張が解けました。一緒にいてとても楽しかったんですよ。あんなにコミュニケーション能力の高い人たちは、なかなかいないんじゃないかなと思います。そんな誰でも輪に入りやすい雰囲気は、自分も心掛けてますし、受け継いでいるつもりです。

― サークルの活動内容について教えてください。

中村 現在は、週に3回火・木・土曜日、1日に2時間練習しています。先輩が後輩の隣に立って、動きを教えながら進めていきます。特に1年生にはマンツーマンで丁寧に教えてい

ます。練習が終わった後は、すぐに帰る人もいれば、残って自主練習をする人もいますよ。練習時間は人それぞれでOKっていう自由な感じなので、一人一人のモチベーションにあった活動ができるのが、自分たちのいいところかなって思っています。

うちは、大会などへの出場ではなく、年に1度のライブを活動の集大成としてやっています。それを機に4年生は引退するので、完全燃焼するまで踊りきって、後輩に引き継ぎます！

― タップダンスの魅力とは何ですか？

中村 タップダンスって、一見とても単調に感じられますよね。音を鳴らす場所が靴裏の4か所しかないんで、奏でられる音は4つだけ。でも、音の鳴らし方や組み合わせ方、テンポなどを考えると、踊り方がどんどん出てくるんです。たった4音で表現の可能性無限に広げられるというのが、タップダンスの一番の魅力だと思います。

また、舞台での演技は、視覚だけでなく聴覚も使って楽しめる点ですね。

― タップダンスは、基本的には音楽に合わせて踊るのですか？それともタップに合わせてBGMをつけるのでしょうか？

中村 音楽なしでやるのもかっこいいですよ。基本的には音楽を流してそれに合わせて踊る形です。どんな曲でもタップダンスは踊れるんで、ライブでは、部員が各々の好きな曲をBGMにして、ダンスを披露します。曲によつてダンスの作りやすさなど難易度が異なりますが、自分の好きな曲を踊るって楽しいですよ。

習いたての頃は大変ですが、時間をかけて地道に振り付けをして、ステージ上で自分のダンスをやり切った時の達成感は、何にも代え難い、特別なものです。

― 今後の目標を教えてください。

中村 サークルの知名度を上げることが大事！僕は、タップダンスサークルはとも魅力的なサークルだと思っています。でも、サークル自体の知名度が低いのが、非常に残念なんです。自分たちの頑張り不足かもしれないですけど……。だからこそ、もっとたくさんの人に知ってもらうことが目標です。皆さんにもこの記事を通して、ぜひ名前を覚えていただきたいです！

― 読者の皆さんに向けてメッセージをお願いします。

中村 タップダンスサークルは「遊ぶ時は遊び、練習する時は練習する」サークルです。学生生活が充実すること、間違いなしです！気になる方は、ぜひ足を運んで確かめてみてください。



代表 (工学部4年)
なかむら てる
中村 輝さん

村上 昂太郎 (共創学部3年)
永田 あい (経済学部4年)
窪田 瑛仁 (理学部2年)

Data

- ◎ 部員：25名 (2023年10月1日時点)
- ◎ メンバーの学年：学部4年：4名、3年：8名、2年：6名、1年：7名
- ◎ 活動場所：九州大学 課外活動施設II
- ◎ 活動日：1週間に3回 (火・木・土) 1日あたり2時間 (正規練習)
- ◎ 問い合わせ先：X (旧Twitter)：@Quniv_tap Instagram：@quniv_tap

この記事は広報課学生スタッフが制作しました。

取材協力

留学生体験記

ようこそ九州大学へ。今回は、アメリカからの留学生をご紹介します。留学や九大での研究、将来の夢について語っていただきました。



Maccioni Luc Cameronさん (マッチオーニ・ルーク・キャメロン)

地球社会統合科学府 地球社会統合科学専攻
修士課程2年

 出身国:
アメリカ合衆国

アメリカのネバダ大学で経済を専攻していたルークさん。新たに出合った領土問題や自衛隊などの研究を深めるために、九州大学への留学を決めたそうです。

MY FAVORITE!



週1回集まるバスケットボール仲間。同じ留学生同士で、中国やドイツなど国際色豊かなメンバー。



福岡市の中洲で友人が撮影したお気に入りの一枚。実はこの友人がネバダ大学への留学経験があったことを福岡に来てから知るという偶然の出会いだった。

Q 日本への留学のきっかけは?

もともとはネバダ大学で経済を学んでいました。経済を選択したのは、卒業後の就職のためです。実際に卒業後は、1年半ほど一般企業に就職もしました。だけど、やっぱり自分がやりたいことは違う。そこから、大学在学中に興味を持っていた尖閣諸島をはじめとする東アジアの問題や、さらにはそれにまつわる自衛隊などの軍事関係をもっと勉強したいと思うようになりました。留学先に日本を選んだのはネバダ大学で日本語を学んでいて、とても住みやすい国だと思ったからです。

Q なぜ九州大学を選びましたか?

現在の指導教員である益尾知佐子先生がいっぱいいるからです。他の大学にももちろん素晴らしい先生方はいっぱいいますが、益尾先生は日中安全保障の研究もされていて、私がフォーカスしている研究内容とぴったりフィットしていました。また、糸島というエリアも自然が豊かで魅力的でした。

Q 現在はどのような研究を?

南西諸島の防衛力の強化について、そして2018年に新編された陸上自衛隊の水陸機動団についての研究をしています。どのように国や軍が動き、それにより国民の安全の選択肢はどのように変化するのか。そこに住んでいる人だけの問題ではなく、世界の大きな課題としてとても重要なテーマだと思います。

Q 研究で心がけていることは?

毎日変化がある問題なので、ニュースや防衛省のサイトは常にチェックしています。また日本のニュースとアメリカなど各国のニュースでは、同じ問題でも捉え方が違う場合が多くあります。違いをしっかりと見極めて、研究に落とし込めるように気を付けています。

Q 今後のビジョンは?

研究を深めるために大学に残るか、アメリカに帰るか、具体的なことはまだ決まっていませんが、どこにいても今の研究テーマに

沿った進路に進みたいと思っています。そして、この世界の問題を多くの人を知ること、安全な選択ができるような世界になることを望んでいます。実はアメリカの国務省でのインターンシップの予定があるので、実際の現場での体験を通じて、将来の仕事の目的や目標がもっとクリアになると思います。

Q 留学を考えている人に一言。

私は留学をしたことで、世界が大きく広がりました。不安もあると思いますが、まずは飛び込んでみてください。九州大学では良い先生、友人にたくさん出会えます。奨学金制度もしっかり活用すれば、安心して勉強できますよ!

世界から九大へ 九大から世界へ


KYUDAI GLOBAL STUDENTS

世界のキャンパス

コロナ禍の中、海外留学を体験した九大生に、留学先でどんなことを学び、どんな暮らしをしていたのか語ってもらいました。

出石 琴美さん (いでいし ことみ) 共創学部4年



 留学国:スウェーデン
留学先:ストックホルム大学
期間:2022年8月~2023年6月

マイナス20°Cの国にて、 興味分野「差別と偏見」を探究

私はジェンダー差別の解決に貢献するという夢を持ち、今回スウェーデンのストックホルム大学に留学の機会を得て、ジェンダー学、社会学、地理学、教育学、比較史のクラスを履修し、差別や偏見について深く学ぶ10カ月間を過ごしました。スウェーデンは平等主義の国として知られていますが、近年、反移民や反フェミニズムの風潮が高まり、社会に大きな変化が起こって

います。この潮流による新たな差別の実態やメカニズムを学際的に理解するために、現地で授業や先行研究を通してデータを収集し、最終的には自身の論文を書き上げました。
-休日のご過ごし方・留学して良かったことは?
休日は勉強に充てる時間が多かったのですが、言語カフェでコーディネーターとして働いたり、忙しい合間を縫って国内の美しい風景を楽しんだりすることができました。
-留学経験をどのように活かしていきたいか?
多様な背景や異文化への共感を持ち意見を交わすことで、学問的かつ批判的な新しい視点



スウェーデンの美しい風景です。シャッターを押す指が止まりませんでした。

日本語を学ぶ学生と日本語話者の学生が異文化交流をする言語カフェ。私はコーディネーターとして、参加してくれる学生が楽しんで学べるように、会話の中に工夫を凝らしていました。



を得て、留学先から最大限の学びを持ち帰ることができました。この学びを、ジェンダー差別の解決に向けた基盤と原動力にして進んでゆきます。
-留学を考えている人へメッセージ!
勉強してみたいことや見てみたいものをとことん掘り下げ、留学したい国や地域、大学をぜひ時間をかけて選んでください。留学には時間とお金が沢山かかりますが、「やっぱりここにして良かった!」と胸を張って言えるかどうかは、準備期間のうちに留学についてどれだけ考えられたかにかかっていると思います。あとは目標に向かって突き進んでください!



世界でも最もオーロラが美しく見られる場所として有名なスウェーデン・アビスコへ。北極圏の大地に先住民サミー人の伝統が息づいており、自然と人々が形作った伝統に感激するばかりでした…。

留学生のごはん事情

ランチは、ホストマザーが作った朝食や前日のディナーを詰めてお弁当にして持って行っていました。お気に入りには、スウェーデンの伝統的な朝食、トーストスカーゲンです。香ばしいトーストに新鮮な甘エビとディル風味のマヨネーズを和えたものがのせられています。
※ディル:セリ科ハーブの一種



大学内でお花見を企画しました。場所は、日本から贈られた桜が満開のスウェーデン王立公園です。

ストックホルム大学

スウェーデンの首都ストックホルムに位置するストックホルム大学は、広大な敷地に複数のキャンパスを有する。メインキャンパスであるフレスカティは美しい自然、ユニークな建築物、モダンアートが特徴である。研究と密接に関わりながら幅広い教育を提供しており、他大学との提携や公共機関などとの連携を通じ、社会の発展に貢献。その他、質の高い研究・教育の必須条件である国際協力の拡大にも積極的に取り組んでいる。世界でも最も権威ある国際賞「ノーベル賞」において、ストックホルム大学では過去に4名の研究者が受賞。授賞式は毎年ストックホルム大学のアウラ・マグナ講堂で開催される。その他、実業家や政治家も多数輩出しており、ヨーロッパで評判の良い大学の一つである。

留学情報はこちら! <https://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study>

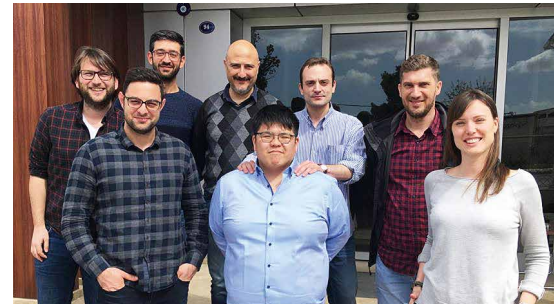


農学部生物資源環境学科
2011年卒業
生物資源環境科学府
資源生物科学専攻 2013年修了

日本たばこ産業株式会社
石野 史人
いし の ふみ と

好奇心の赴くまま トライを続け、 世界の舞台で活躍

海外研修で赴任したトルコにて



石野 日本たばこ産業株式会社（JT）に入社して、国内外にある葉たばこの生産農家や加工工場に対して、品質向上や業務改善に向けたサポートを担当。また、原料となるたばこの品質に関する世界的な基準作りにも携わりました。ブラジルやドイツに赴任したこともあり、さまざまな仕事に取り組み機会が得られています。

石野 ボランティア活動でインドネシアに約1カ月間滞在し、現地の環境問題を目の当たりにしたことは、良い経験になりました。また、修士2年時に自分の就職活動を終えてから、学生の就活を支援する団体を立ち上げました。思い立ったら率先して動くようにしていたので、アクティブな学生生活だったと思います。

— これまでにどのような仕事を
経験されてきたのでしょうか？ —

— 大学ではどのような研究を
されていたのですか？ —

石野 子供の頃からサンゴの生態に興味があり、生態学、分子生物学など、いろんな側面から分析していました。研究で多くの時間を過ごした福津市津屋崎にある水産実験所は、思い出深い場所です。外が暗くなるまで研究に没頭した日は、実験所の屋上が上がって、波の音を聞いてのんびりするのが好きでした。

— 研究以外ではどんな大学時代を
過ごされていましたか？ —

石野 社会人になると責任が伴うからこそ、仕事で得られるやりがいは学生時代の楽しさとは質が違います。学生のうちから何事にもチャレンジして、やりたいことを見つけてください。仕事って楽しいですよ！

— 九州大学を目指す受験生や在校生
にメッセージをお願いします。 —

石野 九州大学は海外赴任や研修で世界中の10か国以上に行つたことがあります。日本人相手だと伝わることも、外国人には正しく理解されない場合が多く、海外でビジネスをする上では、自分の考えをはっきり示すことが大切です。タンザニアでキリンの通過待ち渋滞が発生するなど、日本では起こり得ない場面に遭遇するのも、海外勤務ならではの面白さです。

— 農学部で学んだことが役立って
いると感じることはありますか？ —

石野 農家や工場のサポートをする際には相手の要望にそのまま対応するのではなく、生理学などの知見に基づいて、より適切な改善案を提案しています。その際に、サンゴの研究で培われたノウハウを活用しています。また、多くの人と交渉、調整を図る機会が頻繁にあり、学生時代に積極的に行動したからこそ得られた経験が役立っていると感じます。

— 日本と海外で仕事のやり方に
違いはありますか？ —



大学のソフトボール部のメンバーと。社会人になってもソフトボールを続けている



聞き手 | おおたくしんや 生物資源環境科学府
資源生物科学専攻 修士2年
大宅 信也

大学生活も残りわずかとなり、社会に出ることに漠然とした不安を抱えていましたが、石野さんのお話を伺う中で、社会に出る実感を得ることができました。就職支援団体の立ち上げや海外でのボランティア活動など常に自発的に取り組まれている石野さんのように、変化を恐れず挑戦する心を持った人間になりたいと思いました。



フィールドワークで訪れた調査先にてメンバーと



聞き手 | ふじもとわか な 文学部
人文学科3年
藤本 和佳菜

中学生の頃からの夢を叶えて、実際にメディア業界で働いていらっしゃる先輩のお話を聞くことができ、とても光栄でした。「見ている人の感情を揺さぶる番組を生み出せたら」という森さんの言葉がとても印象的でした。私も先輩のように夢を叶えるために日々努力していこうと思います。今回は貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

森 最初は朝の情報番組「アサデス。」のディレクターを担当しました。その後、報道記者を経て東京へ異動になり、番組編成に関わる編成部での仕事を経験しました。現在は、CM枠をスポンサー企業に提案する営業を行っています。部署が変わることで、転職したくらいに仕事内容が一変するのがテレビ局の面白いところです。

— テレビ局ではどんな仕事を
担当してきましたか？ —

森 中学生の時に見たWBC（野球）の感動が忘れられなくて、見ている人の感情を揺さぶるような番組を作りたいと思ったことがテレビ局を目指した理由です。私は熊本県出身で、大学時代を過ごした福岡にも愛着があるので、ローカル情報を扱い、地元の人を元気にしたいと考えて、九州朝日放送（KBC）を志望しました。

— 就職先にテレビ局を選んだ
理由をお聞かせください。 —

森 「巡検」で歩いて回った地域は、特徴が分かりやすいエリアばかりではありませんでした。現地に足を運んで、その場で面白いネタを探して、カタチにして発表するという流れは、そのまま番組作りにも通じるものがあります。

— 番組作りのポイントをお聞かせください。 —

森 大学の頃の友人の多くは東京で活躍しています。それはとても素晴らしいことですが、九州大学ならではの魅力だとも思います。九州朝日放送局で働く立場からすると、九州を元気にすることも、とても意義のある取り組みです。私自身、今は東京に転勤になりましたが、いずれ福岡に戻って番組作りにも携わりたいと考えています。九州を盛り上げて、ローカルから発信する仕事にも興味をもつてくれると嬉しいです。

— 九州大学を目指す受験生や在校生
にメッセージをお願いします。 —

森 まず、私自身が面白いと感じているのが大切です。なぜ面白いと感じるのか理由を掘り下げて、視聴者が何かを考えるきっかけになるような番組作りを目指していました。また、地元で頑張っている人や地域にとって価値のある情報など、ローカル放送局だからこそ扱えるネタを見逃さないように意識していました。

— 九州大学で学んだことが役立って
いると感じることはありますか？ —

森 「巡検」で歩いて回った地域は、特徴が分かりやすいエリアばかりではありませんでした。現地に足を運んで、その場で面白いネタを探して、カタチにして発表するという流れは、そのまま番組作りにも通じるものがあります。

宇宙天気を解明し
地球の未来を拓く



1998年よりドイツのMax-Planck研究所に所属、北極から大型レーダーで宇宙を観測し、以来25年にわたり宇宙天気の研究に従事

アメリカの国立大気研究センターでは全球大気モデルシミュレーションを行っていた



赤いウェアでエネルギッシュなリユウ教授(中央)と笑顔あふれる研究室メンバー



リユウ研究室は世界から注目されています！

共同研究者
フロリアン グンツコーファー
Florian Günzkoferさん
(ドイツ出身・3カ月招へい中)



将来の夢は宇宙天気予報のエキスパート！

理学研究院学術研究員
チウリフフエイ
Qiu Lihuiさん
(中国出身)



火星や他の惑星の宇宙天気に興味があります

理学部4年
ながた のりつぐ
長田 章嗣さん



社会にとって超越的な何かを発見したい！

理学府博士後期課程1年
グロリア タン
Gloria Tanさん
(アルゼンチン出身)



留学生が多く、いつも英語が飛び交っています

理学部4年
まえだ ともき
前田 朋毅さん



社会に役立つ宇宙天気予報の確立が目標です

理学府修士2年
てらおか そらい
寺岡 宙惟さん



先生は研究もプライベートもアクティブです

理学府修士1年
なりもと ひろし
成本 大志さん



学部生の頃から学会に参加できる研究室です

理学府修士1年
みやけ しょうた
三宅 翔太さん



世界中から集まった多様なメンバーが自慢

理学府博士後期課程1年
ファルハン ナウファル リフワイ
Farhan Naufal Rifqiさん
(インドネシア出身)

宇宙を観測したり、地球大気圏・電離圏をモデリングしたり、衛星を用いた宇宙観測ミッションに参加したりなど、多様なアプローチで宇宙観測や宇宙天気の研究を進めていきます。

2005年に来日し、北海道大学、京都大学を経て、九州大学に研究室を構えたのは2011年のこと。いろいろな分野の先生方と交流する機会があるので、学際的な研究に繋がります。総合知を創り出すためのポテンシャルは、九大の強みといえるでしょうね」とリユウ教授は総合大学である九州大学の魅力を実感しつつ、加えて、伊都キャンパスは趣味のランニングをする上で最高の環境なのだそう。

「自然が豊かで美しく、走っていても

国際色豊かな学生たちと研究以外にも活発に交流

取材時点でリユウ研究室には日本の学生他に、ドイツ、アルゼンチン、インドネシア、中国の留学生や研究員が所属しており、英語でコミュニケーションを図りながら宇宙天気の研究が進められています。これまでにリユウ研究室に在籍した留学生や研究者の国籍は実に30カ国以上。国際色豊かな理由については、リユウ教授は「大気は常に流れているので、日本上

空の観測だけでも宇宙天気を正しく理解・予測することはできません。そのため、宇宙天気の研究には国際的な協力、連携が必須です。私の研究室で学んだ留学生が母国や、また別の国で研究を行うことで、人的ネットワークを世界中に広げたいと考えています」と語っています。

ランニングが趣味のリユウ教授の影響で、研究室のメンバーと一緒にキャンパス周辺を走っているそうです。また、お寺での座禅や、草鞋づくりなど、日本文化を体験する機会も多いとのこと。「私自身、いろいろな国を知ること、人生が豊かになりました。その国の言語や文化、人を知ること、研究も人生も楽しむのが私の motto。学生にも快適な自国から飛び出し、挑戦を続けてほしいと思っています」

真つ暗な世界が広がる宇宙空間ですが、実はそこに電気伝導性のある気体が存在し、その密度や温度状況などが常に変化しています。この変化が「宇宙天気」です。晴れ、曇り、雨といった地上の天気と同じように、宇宙天気も私たちの生活に関連性が深く、例えばスマートフォンやGPS、無線通信、送電網といった分野に地球規模で影響を及ぼす宇宙天気は、各国が連携して研究を進めるホットなテーマ。リユウ研究室でも国内外での共同研究を交えて、最新の宇宙天気についての基礎研究が進められています。

国際色豊かな仲間と宇宙天気の謎に挑む

国際協働を推進する九州大学の中でも、「**LINE@**」教授(以下リユウ教授)が率いる大気流体力学研究室は、特に国際色豊かな研究室です。主要な研究テーマである「宇宙天気」は近年国際的に注目されており、私たちの日常生活にも実は密接に関わっています。

※Kyushu University VISION 2030 VISION6 国際協働

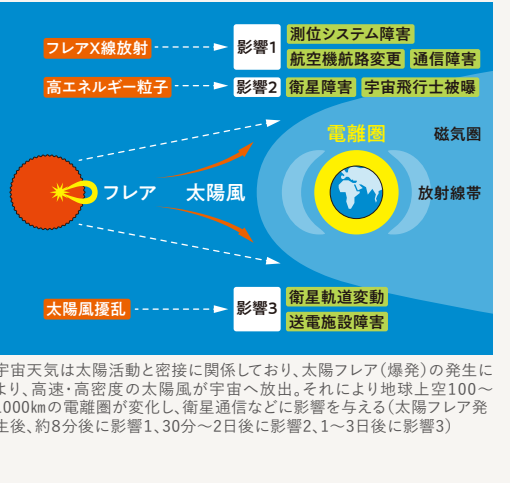
スマホの位置情報の誤差に宇宙天気が関係している




[右] BBQやランニングなど、研究以外での交流が盛んのもリユウ研究室の特徴
[左] 欧州宇宙機関(ESA)の地球重力場観測衛星「ゴージェ」。観測衛星から届くさまざまな大気圏・電離圏データを分析し、宇宙天気の研究が進められている
https://www.esa.int/var/esa/storage/images/esa_multimedia/images/2018/08/the_satellite_on_the_edge_of_space/17663747-1-eng-GB/The_satellite_on_the_edge_of_space_pillars.jpg

中国、ドイツ、アメリカでの研究を経て日本へ

「子どもの頃から空を見上げることが好きでした」と語るリユウ教授。空やその先にある宇宙の、壁や仕切りがない自由な空間に思いを馳せていたそうです。宇宙への興味や憧れを持ち続けたまま中国・武漢大学で電波通信とアンテナデザインを学ぶことから宇宙物理の研究キャリアをスタート。その後、ドイツ、アメリカの研究施設を渡り歩き、直径42mにも及ぶ大型EISCATレーダーで北極から



宇宙天気は太陽活動と密接に関係しており、太陽フレア(爆発)の発生により、高速・高密度の太陽風が宇宙へ放出。それにより地球上空100~1000kmの電離圏が変化し、衛星通信などに影響を与える(太陽フレア発生後、約8分後に影響1、30分~2日後に影響2、1~3日後に影響3)



箱崎キャンパス出土の元寇防塁
写真提供:九州大学埋蔵文化財調査室

元寇防塁研究と九州大学

— 総合研究博物館に眠る学史的資料 —

総合研究博物館 助教
福永 将大

九州大学総合研究博物館には、複数のこぶし大の石が大切に所蔵されています。石には、「今津長濱」、「生の松原西部」、「生の松原東部」、「地藏松原」などと墨書きされており、独特の雰囲気醸し出しています。

これらは、福岡医科大学(現九州大学医学部)初代病理学教授である中山平次郎が採集した資料です。中山は、



中山平次郎
写真提供:九州大学
考古学研究室

明治40(1907)年に、元寇などに関する文章を編纂した『伏敵編』を讀んでから、元寇防塁の探索を開始。大正元(1912)年の夏に、博多湾沿岸の防塁が残存している箇所を徹底的に歩いて調査しました。防塁の石材が地区ごとに異なることに着目し、その証拠資料として石を

採集したのでしよう。この石の墨書きは、採集場所を示しています。こうした地道な調査研究を踏まえ、中山は博多湾沿岸における元寇防塁の位置を推定しました。中山の論文では、九州大学箱崎キャンパス(現九州大学箱崎サテライト)の中にも防塁推定線が引かれています。しかし、その後の調査などで当該地区の防塁は発見できず、後世の開発工事などで既に壊されてしまったと考えられていました。ところが、平成28(2016)年、九州大学箱崎キャンパスにおける理学部正面玄関東北側路面のガス管切替工事に伴う立会調査で、一つの石が見つかりました。この石の発見によって、箱崎キャンパスでの元寇防塁の調査が始まります。本学キャンパス統合移転事業に伴って、箱崎キャンパスの埋蔵文化財発掘調査が九州大学埋蔵文化財調査室により行われ、その後も元寇防塁との関係を示す遺構の発見が続きました。

箱崎キャンパスで新たに見つかった元寇防塁は、博多湾沿岸の他の地区で見つかった防塁とは随分様相が異なっていました。石積みが一列のみで構成されており、脆弱な構造であることや、石積みの後方(陸側)に、石積みと平行する形で人為的に掘り込まれた機能不明の空堀が存在すること



採集場所を示した墨書き



中山が地区ごとに採集した石

など、その特異性は際立っています。なぜ箱崎キャンパス跡地の元寇防塁は、今津・生の松原・西新・博多といった他の地区の元寇防塁と大きく異なっているのでしょうか。現在も課題解決に向けた調査研究が進められており、九州大学による最新の発掘調査研究をきっかけとして、元寇防塁研究は新たな展開を迎えようとしています。

日本中世史研究者で九州大学文学部教授であった川添昭二が、「他国に類例の遺跡もなく、まさに世界史的な遺跡である」と語った元寇防塁。この重要かつ貴重な史跡の調査研究に、九州大学がこれまで深く関わってきており、そして、今もなお、研究の最前線に立っているのです。

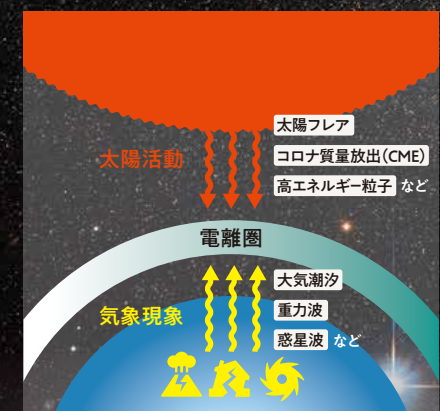


宇宙天気を活用して 便利で安全な未来へ

宇宙天気の仕組みやリウウ研究室での研究内容、正確な宇宙天気予測の重要性などについて、リウウ教授に聞きました。

太陽と地上、双方向からの 影響で宇宙天気が変化する

上空100km~1000kmの宇宙空間は「電離圏」と呼ばれ、電気を通す性質を持ったプラズマを含む薄い空気が存在します。電離圏は太陽活動に強く影響され、例えば太陽フレア(爆発)が発生した際には電離圏が急激に変化。その結果、電離圏内に電波を飛ばす無線通信などが影響を受けることがあります。また、台風や津波、火山噴火などの地上の気象現象などにより電離圏が乱れることも明らかになってきました。普段、我々が利用するスマホの位置情報などは、平均的な電離圏変化をモデリングして補正されたデータを使っているため、支障なく利用できていますが、イレギュラーな変化には対応できません。また、電離圏の大気密度は衛星や宇宙ゴミの軌道と寿命に関わる重要要素であり、衛星運用と長期プランニングに大きな影響を及ぼします。例えば、2022



太陽からの影響に加え、火山噴火や地震、台風といった地上の気象状況も電離圏に影響を及ぼし、宇宙天気が変化する

地上でオーロラが見られるのも元は太陽爆発による太陽風がきっかけ。太陽風に含まれる高エネルギー粒子が地球へ届く際に発光する現象がオーロラの正体である

年2月の磁気嵐は電離圏大気密度を急激に増加させたため、スペースX社の40機もの通信衛星が落下する事態になりました。



ドローン宅配の精度に宇宙天気の正確な予測が関係している

無人運転などの実現を 宇宙天気の予測が左右する

太陽と地上から複雑に影響を受ける宇宙天気の予測は非常に困難です。私たちの研究室では電離圏の日々変化や、太陽フレア、火山噴火、地震などによる不規則で急激な変化を見つけるための基礎研究を行っています。また、宇宙天気予測の共同研究にも参加しており、火星など他の惑星の宇宙天気についても研究を進めています。宇宙天気の予測精度が高まれば、今よりも誤差の少ない位置情報ナビゲーションが可能となり、例えばドローンによる無人宅配サービスなどはその恩恵を受けることでしょう。月や惑星への探査、宇宙旅行など人類の宇宙進出が急ピッチで進むなか、宇宙天気の影響は通信・測位・衛星軌道制御など広範囲に及ぶため、予測精度の向上を世界中の研究者が目指しているのです。

「世界中で宇宙天気の研究が進み、宇宙天気予報士がもうすぐ誕生するかもしれません」



リウウ フィン
LIU HUIXIN 教授

中国出身。武漢大学で電波情報通信工学を学び、ドイツMax-Planck研究所で宇宙物理学を学んだ後、アメリカ国立大気研究センター、ドイツ地球物理研究センターなどで宇宙の観測やシミュレーション、宇宙天気の研究に従事。2011年に九州大学大学院理学研究地球惑星科学部門准教授として着任。

同窓会通信

歯学部 同窓会

九州大学歯学部同窓会は「歯科」のフィールドに進んだ卒業生や在学生をバックアップする頼れる存在です。その取り組みを久保秀郎会長に伺いました。



設立40周年記念同窓会の祝賀会の様子

歯科のフィールドで活躍する 同窓と学び、親睦を深める

● 設立40周年記念同窓会は
2年越しの思いが叶い大盛況

―コロナ禍で延期されていた40周年記念同窓会を開催されたそうですね。

久保 はい。2023年9月23日に開催しました。開催にあたっては会場の選定をやり直すなど、準備に正味2年を費やしました。大変なこともありましたが、運営に携わったメンバーの達成感は大きかったです。歯学部は卒業生の大部分が「歯科」という同じフィールドで仕事をしているので同窓生のつながりは強いのですが、40周年の記念同窓会で、より絆が深まった気がします。

―同窓会当日の様子をお聞かせいただけますか。

久保 ゲストを含め、260名近くの方にご参加いただきました。記念講演会では、私が座長を務め、同窓会に縁のある古谷野潔元副会長、中村典史元学術理事、鮎川保則学術理事にご登壇いただき、昔の話からこれからの同窓会の在り方まで語り合ってもらいました。病院キャンパス



病院キャンパス見学ツアー

の見学ツアーも企画したところ、50数名の方にご参加いただき好評でした。記念祝賀会では、生バンドをバックに同窓生が歌を披露して大盛り上がりでしたよ。

―最後に、今後の展望をお聞かせください。

久保 新しく小児歯科の実習型セミナーを増やしましたが、今後はさらにセミナーの質を高めて同窓生の皆さんのニーズに応えたいと思っています。全国の支部では、地域の同窓生が交流できるさまざまなイベントを開催していますので、気軽に参加してもらいたいですね。今後も、九大歯学部卒業生の活動をサポートする心強い同窓会でありたいと思っています。



[左]祝賀会で熱唱中。久保会長も打楽器のカホンを演奏 [右]記念同窓会で講演中の鮎川保則学術理事

● 委員会が中心となり、
親睦や学びの機会を提供

―設立時のことや活動内容をお聞かせいただけますか。

久保 本同窓会は大学主導ではなく、有志が立ち上げた同窓会だったため、歯学部創立から15年経って設立されています。設立当初は苦労もあったと思いますよ。現在は会員数が2798名、全国に23支部あります(2023年9月現在)。同窓会の意義は、会員同士の親睦・学術の研鑽・大学の後援の3つにあると考えており、会務は委員会を中心に進めています。

―どのような委員会があるのですか？

久保 広報・学術・派遣医連絡・ICTの4つの委員会があります。広報委員会は、さまざまな広報活動を行うとともに、会報誌や広報誌の発行も行っています。学術委員会は、毎年4月に開催する春季学術講演会、年4回実施する症例検討セミナーに加えて、口腔外科と小児歯科、レジシ充填という詰め物の実習型セミナーを行っています。いずれも好評で、多くの方にご参加いただいています。派遣医連絡委員会は、病気がやがてといった不測の事態で診療ができなくなったときに、要望があれば応援できる歯科医師を探して派遣して



毎年恒例の一大イベント「春季学術講演会」

います。さらに時代のニーズに添えて、WEB環境に強い先生を中心にICT委員会も立ち上げました。

―大学の後援活動はどのようなことをされているのですか。

久保 6年前の歯学部創立50周年のイベントでは、私も準備委員会に加わり、本同窓会内で寄附を募りました。5000万円の目標をクリアし、その資金は学生の留学費用などに有効活用されています。その他、教室が全国規模の学会を開催するときは資金援助を行っています。

お話を伺ったのは...

歯学部同窓会会長
久保デンタルクリニック院長

くぼ しゅうろう
久保 秀郎 さん
1983年卒業



会報誌は年に1回、広報誌は年に2回発行。広報委員会が企画・編集しており、楽しみにしている読者も多い。

歯学部同窓会 info

WEBサイトはこちら

九州大学歯学部の同窓生の集まりです。会への参加を希望される方はホームページよりお気軽にお問い合わせください。



令和5年度

山川賞

受賞者のみなさんをご紹介します!

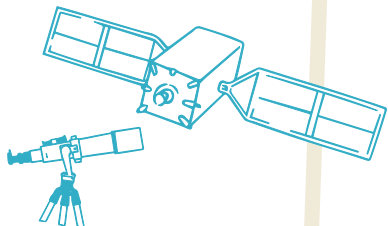
工学部2年
おくいだいら きよあき
奥平 清明

美しい宇宙を保護するために ~持続可能な宇宙開発を目指して~

私は、人工衛星の衝突や爆発によってできた宇宙のゴミである「スペースデブリ」の除去を最終目標として諸活動に励んでいます!

現在、スペースデブリに関連する技術実証を目的とした人工衛星プロジェクト「Q-Li」に所属し、ミッション設計や構体設計を行っています。また、工学研究院花田俊也教授の下で、スペースデブリの観測や起源推定に関する研究を行っています。

将来は、山川賞で頂く奨学金を活用し、大学間交換留学や海外大学院への留学を通して、さらなる専門性の強化とともに、国際性を高め、世界で活躍できる研究者を目指したいと思います!今後ともご支援のほど、よろしくお祈りします!



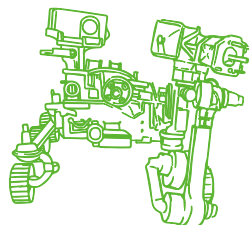
工学部2年
たばた たける
田畑 武琉

NASAジェット推進研究所の エンジニアを目指して

山川賞を受賞させていただいて活動の幅が広がり、とても感謝しています。

私の将来の夢はNASAジェット推進研究所のエンジニアとなり惑星探査衛星や無人探査ローバーの開発に従事することです。小さい頃から宇宙に興味を持っていましたが、2021年の火星探査車perseveranceの着陸を見てアメリカの宇宙開発の壮大さに度肝を抜かれ、「一度きりの人生をかけてアメリカで宇宙開発に関わりたい」と思い、NASAを目指すようになりました。

これから先、大学での講義の他に、交換留学や大学院留学を通して宇宙工学の専門性を高め、人生をかけて宇宙開発に挑むことができるように頑張っていきます!



共創学部3年
いのうえ きしん
井上 己新

ハチで農業を救う! 人と虫を繋ぐ「いと」

私は虫が大好きです。私の人生の目標は「人間と昆虫が仲良く暮らせる社会を実現すること」です。現在は農業分野に焦点を絞り「寄生蜂による生物的防除の普及」のための研究を進めています。寄生蜂とはハチの仲間、農業害虫の天敵です。そんな天敵を害虫の防除に応用することで「生物による生物の防除=生物的防除」が実現されます。化学農薬の過度の使用による生態系の破壊を抑えられます。農業という人間の活動を継続しながら、虫・環境にやさしく、「人間と昆虫が仲良く暮らせる社会」の一つの形です。

私は将来昆虫学者になり、このようなバランスの取れた社会の実現に貢献していきます。そのために熱心に研究に取り組むとともに、積極的に成果を社会に還元していきたいです。



医療格差解消から 差別のない世界へ

農学部3年
わだ かおり
和田 香里

私の将来の夢は、途上国の農村地域でも使用可能な経口型抗HIVワクチンを開発することです。高校生の時に訪れたカンボジアの寺子屋での経験をきっかけに、将来は途上国の都市部と農村部の格差を解消するために貢献したいと考えようになりました。貧困の連鎖をなくすため、常温

保存可能な経口型ワクチンを開発することで医療格差を解消し、差別と教育格差のない未来を実現したいです。

本学では昆虫ゲノムを用いた経口ワクチン研究に携わり、将来的には研究者という立場から持続的な国際協力に寄与できる人材となれるよう励んでまいります。



山川賞とは?

山川健次郎初代総長の名を冠した賞であり、九州大学教育憲章が指向する人間性、社会性、国際性、専門性について優れた志を持ち、学業成績が優秀な学部学生を選考し、次世代を担う若者を育てることを目的とした事業です。



医学部2年
いのうえ みなみ
井上 美波

「こころ」を考え、 幸せの責任を果たす

私の夢は、こころの問題を抱えた全ての人が自ら助けを求められる、そして周囲がそんな人を見つけられる社会を実現することです。精神医療を取り巻く誤解や偏見、医療制度と臨床上の問題点についてまずは自分自身が深く学び、どのように改善できるかを考えていきます。また、子どもの心理支援にも関わりたいです。



私はこれまでさまざまな経験をし、この九州大学で医学を学んでいます。当たり前で過ごしていますが、とても恵まれた環境にいることを理解しています。この幸せに伴う責任を、目標の実現を通じて、日本に、世界に向けて果たしていくつもりです。山川賞に選んでいただき、支援を受けることの覚悟を持って活動していきます。



理学部2年
ちえちよきな まりや
チエチヨキナ マリヤ

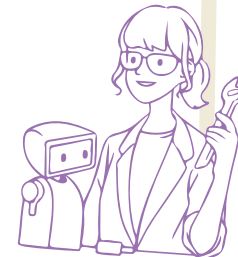
人々の生活に革命を もたらず開発者を目指して

将来は人類に革命をもたらせるような科学技術を開発したいと考えています。

ウクライナと日本で同じだけの期間を過ごした経験から、グローバルなスケールで人々の生活を豊かにしたい、と考えるようになりました。

そのための第一歩として、現在は海外の大学院進学を目指しています。

物理学を学び、得られた知識を生かして起業し、人々に新しい価値を提供できる開発者・起業家を目指します!



工学部2年
ふじた かずき
藤田 航旗

エンジニア的視点を備えた パイロットを目指して ~安全性の追求~



幼少期、初めて飛行機が飛び立つ姿を見た時の感動が忘れられず、それ以来パイロットを志すようになり、この決意は片時も揺らいだことはありません。来るパイロット不足と完全自動操縦への

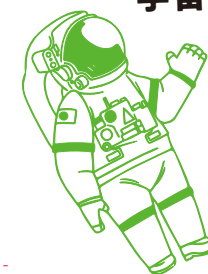
移行に対応するため、現在は学科で航空工学を学習しつつ、独学で航空無線通信用士免許を取得し、着々とパイロットへの準備を進めています。また、航空部でのグライダーの操縦訓練やKUFSA(九州大学 留学生会)での活動に取り組んでいます。

将来は世界中の空を飛ばたくパイロットとして、国々や文化、人々を繋ぐ役割を果たせるよう、日々研鑽に励んでいます!



宇宙飛行士を目指して

工学部2年
ました ともとし
真下 友寿



私の目標は、宇宙飛行士として有人での月、火星探査を行い、人類の生存圏を押し広げていくことです。知力や体力、専門性や国際的な協調性などさまざまな資質が求められる一方で宇宙飛行士の方々が共通しておっしゃるのは「自分の好きなこと、

熱中できることに全力を注げ」ということです。

現在、トライアスロン、鳥人間サークル、ELEP Q2PEC(工学部主催短期留学プログラム)、学生寮で留学生とシェアルームなどさまざまな活動を行っています。

今回頂いたご支援を存分に活用して大学生活、そしてその後のキャリアにおいても心からワクワクすること、自分自身が成長できることに挑戦していきたいと考えています。



九州大学基金 INFORMATION

九州大学基金では、多くの寄附者のみなさまのご支援により、今回ご紹介している「山川賞」をはじめとした支援助成事業を年間1億円規模で実施しているほか、20を超えるプロジェクトを実施しています。詳しくは九州大学基金のホームページをご覧ください。 <https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>



SNSでも最新情報をお届け!

f i X @kyudaikikin LINE @iwa1859p

日々活動を配信しています。
是非フォロー・イネをお願いします!